

国内株式市場の動向と今後の見通し ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

《国内株式市場の動向》

5月7日の国内株式市場は、米国のハイテク株高や米国とイランの戦争終結観測が追い風となり、AI(人工知能)や半導体関連銘柄中心に買いが集まったことから、日経平均株価が前日比 3,320.72 円高(+5.58%)の62,833.84 円、TOPIX(東証株価指数)が前日比 111.76 ポイント高(+3.00%)の 3,840.49 ポイントとなりました。

前日6日、米国がイランとの戦闘終結に向けた覚書を用意し、合意に近づいていると報じられたことを受けて、イラン戦争の終結期待が高まりました。また、国内連休中の米国株式市場は、戦争の終結観測に加えて、ハイテク大手の決算発表が総じて堅調で、今後のAI需要の堅調さを示す内容だったことなども好感され、半導体関連銘柄を中心に上昇しました。

本日、国内株式市場も、イラン戦争の終結期待と連休中の米国株式市場上昇の流れを引き継ぎ、AI・半導体関連銘柄を中心に大幅上昇したことから、日経平均株価は史上最高値を更新しました。

《基準価額の変動状況》

国内株式市場の上昇に伴い、以下のファンドが前日比で5%超の上昇となっております。

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
A L A M C O 日経平均ファンド	12,640	685	5.73
A L A M C O D C日経平均ファンド	73,522	3,988	5.74

《今後の見通し》

国内株式市場は米ハイテク株高を背景にAI・半導体関連銘柄中心に上昇していますが、幅広い銘柄に物色が広がっているわけではないため、投資家は全面的に強気転換していないとみています。今後も、恒久的な停戦合意が確認されるまでは、停戦協議に関する報道に左右される展開が続くとみます。ただし、これ以上の戦況悪化がなく、船舶が条件付きながらもホルムズ海峡を継続的に通航可能となるなど、イラン情勢に一定の改善が見られれば、決算発表で保守的な業績ガイダンスが出る中でも景気・企業業績の堅調さへの期待を軸に上昇基調が維持されるとみています。

※本資料中のいかなる内容も、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2026-05-275

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)
- その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2026-05-275